

# ここが見どころ観光資源

③東北歴史博物館  
旧石器時代から近現代までの東北地方全体の歴史をテーマにした博物館です。美術品、考古品、写真、映像、体験スケースなどで、東北の歴史を肌で感じることができます。常設展示のほかに、特別展示やテーマ展示も行つており、大人も子供も何度も樂しまれます。



使う土のうを作り、作業をお手伝いしました。参加者は、「とても面白い経験ができた。この体験を人に勧めたい」という声があります。

このプロジェクトは、今後も継続して開催していきます。ぜひご注目ください。

「ラツセラー、ラツセラー！」夏の青空に祭り囃子が響きます。8月24～25日「多賀城月の市にぎわい祭り」が開催されました。会場の多賀城駅前広場には2日間で約千五百人が集ま

**PICK UP!**

その4 多賀城月の市（B級グルメ）

# 海と漁業の魅力に触れる 漁業&ブルーツーリズム開発応援プロジェクト#

(南三陸・泊浜)

II 8月18～19日、漁業  
催し、8名のボランティア  
向け奮起する漁師、高  
新たにスタートし  
た本プロジェクトでは、  
は、参加を通して養  
殖業の様子・プロセスを  
スを知つていただけ

橋直哉さんと共に作るプロ  
&ブルーツーリズム開発応  
ノイアが参加しました。南  
ことと、初心者でも  
「漁師さんから教わつ  
て」釣りを楽しめる  
レジャーを、南三陸  
の海で立ち上げるこ

援プロジェクト#1を開催  
三陸町・泊浜で、復興に  
プロジェクト、初開催です。

今回は参加者の皆さんに、今が旬のホタテ、来年収穫となるカキの漁場を見学し、船上からの釣りを楽しんでいただきました。また、春に収穫したワカメの袋詰めや、ホタテを養殖する際に使うロープの準備、養殖場で

たワカメ、売れるから「私たちはつくった土のうがいつ海に入つたか分かると楽しい」という思い入れが出て、プロジェクト後も高橋さんとのやり取りが続いているようです。

## 復興応援団とは

私たち一般社団法人復興応援団は、地元の方が主に東北地方が主に復興したために、いよいよ各市町村を東北地方へ向けて活動する目的で、このアーバン開拓の第一歩として、地元の農業者や地元の商店街、地元の学校などと連携して、地域活性化のための取り組みを行なっています。

「ボランティア一日」を実施してツアーナ三陸町で、全国から参観者がいきます。地域再生の取り組みは、地元の魅力に触れてもらうことで、地域の魅力をより多く伝えたいのです。

いりネ内宅をミ心住つや興業ワ「  
きをツ外や目ニに民なま公で」支多  
まおトで見指ニなのがち當はクえ賀  
す。手ワゆなしテつ皆るづ住「  
伝しるし、イたさよく宅今づい  
いクや仮仮の自んうりの後くネ市  
しづか設設形治がなに生のりツで  
てくなの住成コ中、も活復事トの

月の市は震災後、  
これから多賀城を  
より良く、より豊か  
な街として復興する  
ため、地域の皆さん  
によつて始められま  
した。今回は、復興  
応援団でも運営をお  
手伝いをしました。

今回のメインイベ  
ントは、本場青森県  
からやつてきた「ね  
ぶた祭り」。大きな

飲食店による出店も立ち並び、ステージ上では様々なパフォーマンスが披露されました。ねぶた祭りのステージでは、独特のお囃子に合わせ、来場者が声を合わせて一緒に踊りました。多賀城の復興を願う想いが一つになつたような、温かい瞬間でした。

8月25~26日、本プロジェクト初となる、菊畑の「開墾」作業をお手伝いしました。今回ばかります。

20名のボランティアが参加しました。作業場となる土地に着くと、予想以上の荒れ具合にみなさんが驚き。作業内容はとにかく土が見えると活動しながら、みんな取組に関わり、新しいものを作りあげていくことで、キレイになります。

業に思えましたが、参加者の皆さんはパワフルで、いきいきと活動しながら、みんな取組に関わり、新しいものを作りあげていくことで、キレイになります。

愛着が芽生えたようですね。作業を通してファンが増えていく

## 菊畑の開墾をお手伝い 農業で被災者雇用応援プロジェクト（南三陸・歌津）#10



# 多賀城・仮設住宅でイベント開催

多賀城市内の各仮設住宅で、夏の暑さも吹き飛ばす楽しいイベントが開催されました。住民の皆さん自身が交流を深めようと主催されたもので、復興応援団も準備段階から相談を重ね、運営をお手伝いしました。



# 勤労青少年ホーム跡地仮設・納涼会

りました。

自治会役員の方が

「団地内の小さなお祭りだけど、人と人

のつながりができる大きなお祭りにしたい」と仰っていた通

り、日頃あまり出でられない住民の方

も交えて交流の輪が広がりました。

最後には、「新春餅つき大会」のアイ

# 高橋公園仮設・夕涼み会

8月21日（火）、夏の夕暮れの涼しげな風が吹く中、高橋公園仮設住宅で住民さん発案の「夕涼み会」が開かれました。住民有志が、日頃の自治会への労いと団地に住む住民の皆さんに夏の思い出になるように企画し、開催しました。

当日は、住民やボランティア、民生委員の方が協力して準備をすすめました。住民の皆さんからもたくさんありました。



8月21日（火）、夏の夕暮れの涼しげな風が吹く中、高橋公園仮設住宅で住民さん発案の「夕涼み会」が開かれました。住民有志が、日頃の自治会への労いと団地に住む住民の皆さんに夏の思い出になるように企画し、開催しました。

当日は、住民やボランティア、民生委員の方が協力して準備をすすめました。住民の皆さんからもたくさんありました。



8月25~26日、本プロジェクト初となる、菊畑の「開墾」作業をお手伝いしました。今回ばかります。

20名のボランティアが参加しました。作業場となる土地に着くと、予想以上の荒れ具合にみなさんが驚き。作業内容はとにかく土が見えると活動しながら、みんな取組に関わり、新しいものを作りあげていくことで、キレイになります。

愛着が芽生えたようです。作業を通してファンが増えていく

8月21日（火）、夏の夕暮れの涼しげな風が吹く中、高橋公園仮設住宅で住民さん発案の「夕涼み会」が開かれました。住民有志が、日頃の自治会への労いと団地に住む住民の皆さんに夏の思い出になるように企画し、開催しました。

当日は、住民やボランティア、民生委員の方が協力して準備をすすめました。住民の皆さんからもたくさんありました。

8月21日（火）、夏の夕暮れの涼しげな風が吹く中、高橋公園仮設住宅で住民さん発案の「夕涼み会」が開かれました。住民有志が、日頃の自治会への労いと団地に住む住民の皆さんに夏の思い出になるように企画し、開催しました。

当日は、住民やボランティア、民生委員の方が協力して準備をすすめました。住民の皆さんからもたくさんありました。

8月29日（土）~30日（日）農業で被災者雇用応援プロジェクト#12を開催します。参加申し込み込みはホームページにて。

## 今後の予定

導の声援で大盛り上がりです。夜は花火で盛り上りました。高橋公園仮設住宅では、9月末にも自治会主催の芋煮会が開かれます。

復興応援団HP : <http://www.fukkou-ouendan.com/>